

# 第3次松戸市食育推進計画

計画期間：平成30年度～34年度

～食育の「わ」を広げよう～



## ごあいさつ



「食」は命の源であり、生きる喜びや楽しみを与えるだけでなく、食を通して各世代や地域、食に関わる関係機関をつなぐ「わ」をつくるものです。

しかし、近年、価値観やライフスタイルが多様化し、食を取り巻く様々な課題が生じており、それらに対応するため、本市では平成20年度に松戸市食育推進計画、平成26年度に第2次松戸市食育推進計画を策定し、各部署で様々な施策に取り組んでまいりました。

この度、前計画である第2次松戸市食育推進計画の終了にあたり、これまでの各分野での取り組みを振り返り、基本理念「食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」を実現するため、平成30年度から平成34年度までの5年間の計画期間とする第3次松戸市食育推進計画を策定いたしました。

本計画では、第2次計画の基本的な考え方を継承するとともに、「友人や家族等、多世代で食を楽しむ機会を増やす」、「若い世代に対する食育を促進する」、「保育所、幼稚園、学校等の給食を活用した『食に関する指導』を促進する」、「オーナー農園、市民農園等の農業体験活動を促進する」、「ライフステージに応じた食育を推進する」を重点事業として位置づけ、さまざまな機会を通じて食育の「わ」を広げ、食育のさらなる推進を図ってまいります。

最後に、本計画策定にあたり、ご尽力いただきました松戸市食育推進会議の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました市民の皆様や関係諸団体の皆様に心から感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月

松戸市長 本郷谷 健次

## ごあいさつ

松戸市食育推進会議では、その前身の食育推進委員会の段階を含めて、平成 18 年度より食育推進計画策定にむけた取り組みを行ってきました。その取り組みは、千葉県内でもかなり早く、県の食育推進計画の策定に先駆けて、第一次の松戸市食育推進計画を策定して以来、特色ある食育推進の取り組みを関係機関との連携を図りながら進めてきました。



全国でも市レベルでは余り例のない市内 4 大学（千葉大学園芸学部・聖徳大学・日本大学松戸歯学部・流通経済大学）と松戸市との地域連携のもとで、市民 3,000 人および 4 大学生を対象とした食育に関する意識調査を実施し、第 3 次食育推進計画の基礎資料としたほか、市民参加型の食育イベントおよび食育モデル事業としてたいへんポップな食育かるたの制作など、食育への市民的な関心を高める特色ある具体的な取り組みがなされてきました。今回の第 3 次食育推進計画では、食育の「わ」をさらに広げることをねらいとしています。

食育には、いくつかの特徴があります。一つは、食育のカバーする領域が大変広い範囲にわたっているという点です。具体的には、食と健康に関する領域、食べ残しや生ごみなど資源と環境に関する領域、地域の食文化をはぐくむことによる地域活性化の問題など、実に幅広い領域に及んでいます。

もう一つは、食育は現在の世代の人々のみでなく、将来の世代にも大きくかかわる問題であるという点です。つまり、食育は現在と未来をつなぐ長い視野が必要となる点が挙げられます。

このように、食育は、多くの領域にわたる点、世代間の長期にわたる点で、私たちの視野と連携の「わ」を広げることを必要としているのです。こう申し上げますと、食育とは、何かこむずかしいことと感じられるかもしれません。しかし、基本にあるのは、食に関わることをいろいろな角度から楽しむということではないかと思えます。そこから、私たちの食を始め、伝統、誇りなど、食育の活動を通じて地域のすばらしさを再発見できれば、これに越したことはありません。

私ども松戸市食育推進会議におきましても、地域の魅力を再発見し、その未来を見つめることができればとの思いで策定作業を進めて参りました。本第 3 次食育推進計画が、食育の実践活動を通じた「わ」の広がりにより、地域の魅力の発見と健康的で環境調和的な未来に通じる成果として結実することを、祈念いたします。

最後に、食育推進計画の策定に至る過程で、ご協力とご尽力いただいた市民の皆様および関係者の方々に深く感謝申し上げます、挨拶のことばとさせていただきます。

平成 30 年 3 月

松戸市食育推進会議 会長  
千葉大学大学院教授 大江 靖雄

# 目次

第1章 基本的な考え方	1
1 国・県の動向	2
(1) 国の動向(第3次食育推進基本計画の策定)	2
(2) 県の動向(第3次千葉県食育推進計画の策定)	3
2 市の計画	4
(1) 計画の位置づけ	4
(2) 計画期間	4
3 食に関する社会情勢	5
(1) 和食(ユネスコ無形文化遺産)	5
(2) 食品と健康の安全・安心(放射性物質について)	6
(3) 食べ残しや食品廃棄物(食品ロス)の問題	6
(4) 家族や友人と食卓を囲む機会の減少	8
第2章 松戸市の現状と課題	9
1 松戸市の現状	10
(1) 松戸市の健康の現状	10
(2) 松戸市の農業の現状	14
(3) アンケート調査結果	21
2 第2次計画の評価と課題	27
(1) 指標とした項目の評価	27
(2) モデル事業	28
(3) モデル事業の評価	31
第3章 第3次松戸市食育推進計画	34
1 基本理念	35
2 推進キャッチフレーズ	35
3 基本目標	35
4 基本施策	36
(1) 施策体系	36
(2) 重点事業	39
(3) 推進事業	42
5 計画の推進	63

(1) 推進体制について	6 3
(2) 指標及び目標値	6 4
(3) 今後のスケジュール	6 5
(4) パブリックコメントによる意見募集	6 5

参考資料	6 6
------	-----

1 関係法令	6 7
2 食事バランスガイド	7 7
3 食品表示のいろいろ	7 8
4 松戸市食育推進体制	8 2
5 用語解説	8 6

※本文中の\*印が付いている用語については、86 ページからの「用語解説」に説明があります。